

# 下町河川 Tomorrow

これは東京都の江東内部河川流域連絡会の情報誌（議事録）です。

7月27日（火）

第2回江東内部河川流域連絡会（現地見学会）が開催されました。



平成11年7月27日（火）P.M.1:20  
～約3時間にわたり、江東内部河川  
の現地見学会（第2回江東内部河川  
流域連絡会）が開催されました。

- ・都民委員9名（江東区、墨田区、江戸川区各3名）、行政委員10名の計19名の委員のうち、17名が参加しました。
- ・オブザーバーとして都職員が1名参加し、臨時委員として「灯籠流し」を行う会、「和船友の会」から各1名ずつ参加していただきました。（名簿は10頁）

当日は、主要河川・施設の現地見学を行い、各見学場所について、行政委員及び臨時委員から説明がありました。また、見学会当日及び後日のアンケートの実施により、委員から多くの意見、感想が寄せられました。

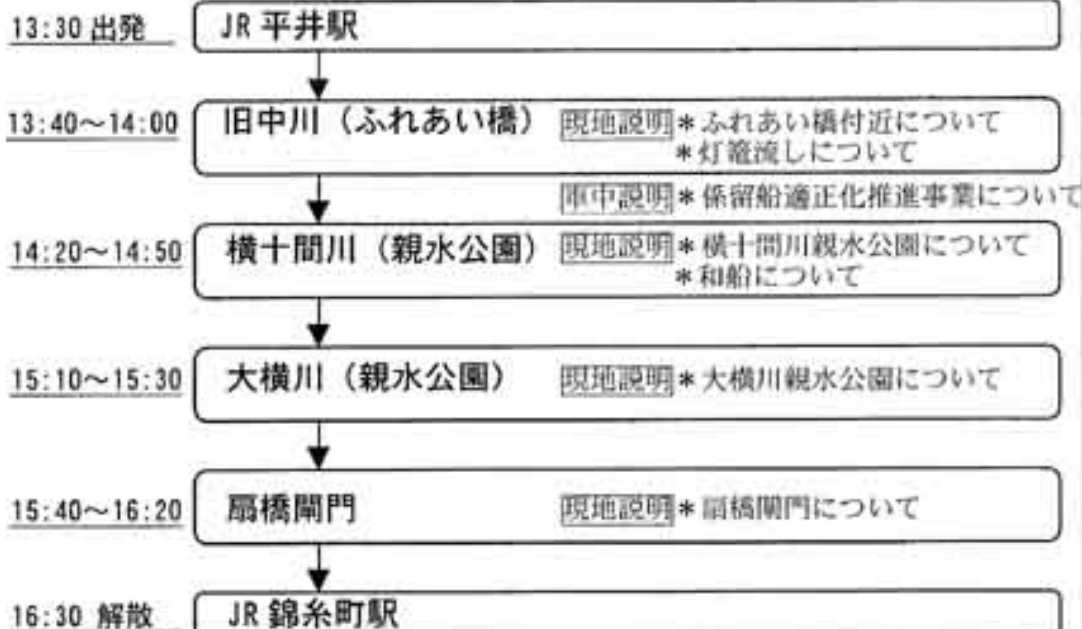
## 見学会のコース

□実施日：平成11年7月27日（火）

□時間：13：20～16：30

□交通手段：小型マイクロバスを使用

□見学コース：



■灯籠流しについて説明する加藤臨時委員



■和船について説明する斎藤臨時委員



■大横川（親水公園）



■旧中川（ふれあい橋）

見学会コース図



■扇橋閘門



■横十間川（親水公園）



### □旧中川（ふれあい橋）について



#### 都民委員の意見・感想

##### ●河川の自然の姿を大切にしたい

- ・人工的な素晴らしい環境整備も良いのですが、アソ原を残した（回復させた）昔の河川環境とする場所もあって良いと思います。
- ・この河川は、他と比較して“自然とのふれあい”を実現させる条件を備えており、リフトアップも悪くないのですが、アソの復活や日本在来種を中心とした植生にした方が良いと思います。
- ・旧中川の、ゆったりと蛇行し穏やかに流れるその自然の姿は、悠久に保全されるべきものと考えられます。

##### ●すっきりとした開放的空間整備に対する賛同

- ・都市の中を流れる河川として、広い空間を提供している旧中川は貴重だと思います。
- ・見た目にムダがなく、すっきりしていて好印象を受けました。

##### ●周囲のまちづくりとの一体的整備の必要性

- ・付近の建造物が殺風景であるため、せっかくの橋と川の環境を削いでいる印象があります。河川整備とまちづくりが一体的であることの必要性を改めて感じました。
- ・ふれあい橋から見える大きな工場がどう変わるかで、ここのイメージも変わると思います。工場の敷地内の川側だけでも、植栽を増やす（スペースが少ないのならば、蔓性植物を塀に利用する等）ことは考えられないものかと思えます。

##### ●住民参加を促すソフト面での活用

- ・ソフト面での活用と、それに対する住民の理解が今後大切だと思います。
- ・灯籠流し等を通して、両区の人達が交流できるこの橋の役割は大きいと感じました。
- ・ふれあい橋で行われるイベントに、工場にも参加してもらえば、川への理解が高まり、今後の工場の対応も変わってくるのではないかと思います。

##### ●その他

- ・部分的な整備のためか、全体像との調和がよくわかりません。灯籠流しに対応したことは評価できますが、とりあえず的な整備の感があります。
- ・護岸の芝生は気持ちいいのですが、出来れば木陰もほしいと思います。

## □横十間川（親水公園）について

### 都民委員の意見・感想

#### ●水質改善への期待

- ・川の水質が多少悪化しているようなので、何とかならないものかと思います。
- ・水質を改善して、子供たちが泳げるようにしたら、地域に親しまれると思います。
- ・和船は大変印象的でした。願わくは、水がもう少しきれいならばと感じました。

#### ●和船についての賛同

- ・和船の会の活動は、素晴らしい試みだと思います。
- ・和船は、お洒落な飾り金具がついている等、手作りならではの工夫があり、美しさを感じました。もっといろいろな方の目にふれる機会を増やせば、和船の魅力が伝わるのではと思いました。



#### ●多彩な空間整備

- ・全体デザインの巧みさ、小鳥のサカサバ造成、日常清掃の徹底等、河川を活かした公園として、全国的にもトップレベルのひとつとして位置付けてもおかしくありません。ただし、小名木川合流点の船着場周辺にある落書きが印象を壊しているのは残念です。
- ・和船の体験乗船等、個性的な利用がなされており、特徴ある親水公園だと感じました。
- ・狭いが川の流れは程よく蛇行して、高木の木陰は水面に憩いを与えている。また、アシを生育させている浅瀬があり、和船の回遊にびったりの情緒を感じさせている。
- ・高木も育っており、親水化について多角的に工夫されていると感じました。
- ・水の流れの一部に入ることができ、子供の遊ぶ姿はこれぞ親水公園と思いました。

#### ●その他

- ・古い護岸跡が残されていますが、修景等により景観的に整備するか、護岸跡として展示的な掲示をしたほうが、利用者の理解がより深まると思います。
- ・川を埋めてしまうことには反対で、公園やつり堀は別のところにつくった方が良いと思います。

## □大横川（親水公園）について

### 都民委員の意見・感想

#### ●公園の構成に工夫が感じられる

- ・直線的な公園でありながら、緑が多く巧みにテーマがあり、飽きさせない工夫を感じました。
- ・ポンプアップした水を利用した流れは溪流のようで、その音も涼しさを感じさせるものでした。都会にいながら野趣を感じさせ、周辺の方たちを楽しませているのではと思いました。
- ・自然石を取り入れるなど、良く整備されており、歩いてみたいと思わせる雰囲気があるとしました。



#### ●維持管理に対する疑問

- ・手入れの状態があまり良くなく、汚れが目立つ気がしました。三島にある農業用水では、地域の人達も一緒になって管理をしており、観光イベントとして東京からバスで清掃にやってくることもあるそうです。このように地域の人達にメンテナンスに協力してもらう仕組みはつくれないものかと思いました。
- ・公園のゾーニング構成は、変化にとんでおり楽しめるが、案内表示板の汚れが目立ち、清掃がおざなりなのが気になりました。

#### ●周辺との一体化

- ・水辺は、利用者も多く良好な環境となっているが、川が町の中に埋もれて別世界になっている印象があるので、もう少し周囲から分かりやすくなればと感じました。
- ・場所的な制約でやむを得ないにしても、公園への入口が貧弱な印象があります。

#### ●その他

- ・木が繁茂する自然と、防犯という相反する問題をどのように対処しているのか教えていただきたい。
- ・地域の人達にどのように利用されているのか（緑や親水的な部分等で、学校などの教育的な利用、観察等がされているのか）知りたいと思いました。



## □扇橋閘門について

### 都民委員の意見・感想

#### ●施設の一般公開への期待

- ・このような機能をもつ施設は、地元小中学校の児童等を対象とした見学会で、正しく説明してあげるべきではないでしょうか。
- ・すばらしい施設なので、閘門の役割や必要性等を理解してもらう見学コース等を充実させると良いと思います。
- ・施設公開への努力を期待すると共に、小名木川遊歩道と扇橋閘門の連絡道設置を要望します。
- ・建物内に入るのは無理としても、隣接した公園との間の柵を取り払い、水面のそばまで近づけるようにし、テレビカメラを外につけて、船が遠くから来るのをキャッチしている様子等を見せれば、江東区の名所になると思います。

#### ●景観への配慮の必要性

- ・周辺の河川が水と緑を感じさせる空間なのに、閘門施設が無機質な工場のような印象を受けるため、施設の中にちょっとした緑がある、周囲の景観に配慮した閘門デザイン等の工夫があっても良いと思います。
- ・機械は良く理解できましたが、潤いがないのは、制約があって仕方がないのでしょうか。工夫の余地がありそうな気がします。



### 行政委員の意見・感想

- ・見学のための展望台設置を検討したいと考えています。
- ・「水と緑のネットワーク」の充実を図る上で、閘門部分で行き止まりとなるため、将来的には通行出来るように配慮すべきだと考えています。
- ・荒川の閘門（建設省で工事中）とうまく連動し、船運を活性化させる方策を提案したいと考えています。

## □ その他江東内部河川全般について

### 都民委員の意見・感想

#### ●文化・歴史の継承

- ・臨時委員等都民が保有している文化・歴史的情報は、何とか形に残さなければならぬと感じました。
- ・内部河川がこれまで歩んできた歴史等が、地域住民に正しく受け継がれていくための、内部河川歴史資料館的な場も今後必要ではと感じました。

#### ●今後の河川整備への取り組み方

- ・親水に関わる新しいプランの実施は、ほとんど不可能な状態であり、担当者は消極的になりがちかもしれませんが、「できない」という前に「これならできる」といった発想の転換が必要ではないかと思います。
- ・内部河川が整備されていくにつれて、それらを継続的に維持・管理し、安全に利用されていくためには、行政の方の努力だけでは難しいと感じます。地域事業者や地域団体、住民等が連携、協力していく必要があると思います。

#### ●流域連絡会について

- ・本流域連絡会では、行政委員だけではなく、都民委員も何か行動し、情報を交換・共有していく仕組みが必要だと思います。例えば、連絡会の資料は、主に事務局で用意していますが、都民委員からも、都民のもつ古い写真や内部河川の歴史等の資料を収集して、見られる形に整理することが出来ないかと考えています。

#### ●その他

- ・不法係留船、沈没船については、これら無くす手立てができれば、景観的にも、周囲の人にとっても良いと思います。
- ・落書き防止のため、壁面にはタ植物を這わせてはどうかと思います。



## 灯ろう流し開催

### 旧中川の親水堤防整備により、灯ろう流しが開催されました。

昭和20年3月10日の東京大空襲により、旧中川で2,834名の方が亡くなりました。この犠牲者を追悼するための「灯ろう流し」が54年後の平成11年8月15日夕方、地元区民の方々と構成された実行委員会の主催により、旧中川ふれあい橋際で、初めて開催されました。

会場付近の旧中川は、多自然型の親水性に富んだなだらかな堤で、都立亀戸中央公園と一体となった都民の憩いの広場になっています。

当日は、真夏の夕日を受け、犠牲者への黙とうにはじまり、地元選出の国会議員や江東・江戸川両区長ほか来賓のあいさつ、来年度統廃校予定の江東区浅間小学校の生徒によるプラスバンド演奏。そして、夕暮れの中、猪牙（ちょぎ）船を模した灯ろうが静かに手を離れ、岸辺にたたずみ、また、南西の風を受け、いつもより早い水の流れとあいまって、時にはすべるように川面を下っていきました。

灯ろうの数は犠牲者の数とほぼ同じ3,000余り、参加者は5,000人と報道されています。

江戸川区の加藤勲実行委員長（72才）は、3年前より江東治水事務所と打合せを行い、遠近の数多くの方の参加に感無量の様子でした。

旧中川は江東地区の低地帯を水害から守るため、外水を締め切り、内水位を周辺地盤より人工的に低くしているため、普段は流れがほとんどありません。そこで、この日は江東治水事務所が木下川排水機場のポンプ稼働させて流れをつくり、灯ろう流しの演出に一役買いました。

この灯ろう流しは、戦争の悲惨さを後世に伝え、恒久平和を祈念し、今後も毎年開催していく予定と、実行委員会では考えています。

江東治水事務所では、下町河川の低地河川を今後とも「人々に親しまれ、暮らしの中に生きる川」として復活させていきたいと、決意を新たにしています。



(東都よみうり提供)

## 連絡会の今後の予定について

- ・第三回は来年の1月下旬頃を予定しています。
- ・今回のアンケートでのご質問等については、第三回の連絡会でお答えして参ります。

## 江東内部河川流域連絡会（第2回）・委員名簿

平成11年7月27日  
(敬称略)

都民委員 (9名) ※7位対順	勝田 幸雄 木村 幸一郎 須永 俣子 田中 兼勝 中田 由和 西田 實 藤井 勇 藤井 達生 増田 レア	江戸川区 墨田区(欠席) 江東区 墨田区 江戸川区 江戸川区 江東区 江東区 墨田区(欠席)
行政委員 (10名)  (アザ・ン・)	渡邊 正雄 粒来 堯 新村 義彦 福島 康夫 伊藤 博 山崎 孝一 高橋 紀男 石井 幸一 ◎下松 義之 高橋 一之  浅古 庄一	墨田区土木部工事課長 江東区土木部河川公園課長 江戸川区土木部計画課長 東京都環境保全局水質保全部計画調整課長 * 下水道局計画部施設計画課長 * 建設局河川部副参事(係留船等対策担当) * " " 副参事(総合治水・低地河川防災計画担当) * " " 第五建設事務所管理課長 * " " 江東治水事務所内部河川工事課長 * " " 江東治水事務所水門管理課長  * 下水道局東部第一管理事務所ポンプ施設課長
臨時委員 (2名)	加藤 勲 斎藤 富三	江戸川区 「燈籠流し」を行う会 江東区 「和船友の会」

◎座長

連絡先：江東内部河川流域連絡会事務局（東京都江東治水事務所内部河川工事課内）

担当：下松、高橋

T E L : (03) 3692-4651 (代) 内線 431 FAX (03) 3692-9955